

登録コード	E8253303	開講年度	2026					
授業科目	社会科教育特別演習D					担当教員	野口 舞子	
英文授業名	Special Seminar of the Social Studies D					副担当		
単位数	2	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生		
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ							
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					⇔	・外国史に関する研究文献を批判的に読み、歴史学の手法を学ぶ(達成目標①)。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					⇔	・歴史資料や研究文献の分析を通じて、他者に論理的に伝える力を養うとともに歴史教育を実践するための基礎を身につける(達成目標②)。	
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化、多文化協働							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	各自が関心のあるテーマについて、先行研究や史料の分析を通じて、歴史学の手法を実践的に学ぶ。授業は報告とそれに対する討論という形で進める。							
(5)授業計画	第1回：オリエンテーション(分担、報告方法の確認など) 第2回：研究テーマの報告 第3回：文献探索の方法と実践 第4回：英語文献講読：ヨーロッパ近世 第5回：英語文献講読：イスラーム中世 第6回：英語文献講読：アジア近現代 第7回：研究動向レビューの方法 第8回：研究動向レビュー：ヨーロッパ近世 第9回：研究動向レビュー：イスラーム中世 第10回：研究動向レビュー：アジア近現代 第11回：史料読解：ヨーロッパ近世 第12回：史料読解：イスラーム中世 第13回：史料読解：アジア近現代 第14回：全体討論、授業アンケート ※教育実習による欠席分の補講は、課題の提出・添削等で対応する。							
(6)成績評価の方法	・授業の達成目標①の到達度測る討論での発言 50点 ・授業の達成目標②の到達度測る報告 50点 ・得点率による評価基準は次の通りとする。 90%以上 秀、89-80% 優、79-70% 良、69-60% 可、59%以下 不可							
(7)成績評価の基準	(i)問題の設定が適切であり、(ii)その問題の背景を説明できており、(iii)その問題にどのような課題があるのかを指摘でき、(iv)それらの課題に対しての既存の学説が提示する解決法を適切に把握し、(v)その上で自分の見解を提示できており、かつ高度に学術的な意義を有すると判断できるものは「卓越している」。 (i)から(v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目まで満たしていれば「やや上にある」。3項目まで満たしていれば「合格水準にある」。							
(8)事前事後学習の内容	・事前学習：各回で扱う文献を必ず読んでおく。また、知らない用語や歴史的背景などについて調べておくとともに、自分が議論したい点を考察しておく。 ・事後学習：授業内で提示した参考文献を読み、理解を深める。 ※この授業は90時間の学修を必要とする内容である。従って、60時間以上の時間外学習が必要となる。							
(9)履修上の注意	・授業内の討論において発言や質問するなど、意欲的に授業に参加することが望まれる。 ・資料の配布、授業の振り返り、レポート提出等で適宜eALPSを利用する。							
(10)質問、相談への対応及び連絡先	・オフィスアワー：M315研究室、平日在室時は随時。 ・連絡先：noguchi_maiko@shinshu-u.ac.jp							
【教科書】	・原則として使用しない。資料を配布する。							
【参考文献】	・適宜指示する。							